

令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育総合推進地域事業>

都道府県・
指定都市名

三重県

地域名

名張市立赤目中学校区

人権課題

同和問題、障害者、外国人、子ども、性的指向・性自認

各組織の動き・役割等

名張市人権・同和
教育推進協議会

運営委員会（各校校長、教頭、市教育委員会担当者、県教育委員会担当者）＊決定機関

三重県教育委員会
（人権教育課）
名張市教育委員会
（学校教育室）赤目中学校PTA
錦生赤目小学校
PTA
箕曲小学校PTA
百合が丘小学校
PTA推進委員会（各校校長、教頭、人権教育担当者、研修担当者、市教育委員会担当者、県教育委員会担当者）
＊実施計画等の検討 ＊各グループへの指示各校
学校運営協議会一ノ井児童館・
教育集会所

赤目中学校区小中一貫教育							
人権教育・地域連携部会				生徒指導・教育相談部会		学力・体力部会	
人権教育 カリキュラム グループ 担当…赤目中	なかまづくり グループ 担当…百合が丘小	人権学習 グループ 担当…錦生赤目小	地域連携 グループ 担当…箕曲小	生徒指導 グループ	教育相談 グループ	学力 グループ	体力 グループ
合同学年部会・各グループ会							
各学校研修会							

【人権教育総合推進
会議】
赤目中学校区
人権教育推進協議会校種間連携の
概要

- ・管理職、人権教育担当を中心に運営委員会、推進委員会を実施し、小・中学校で連携した人権教育を推進した。
- ・中学校区の教職員が小中一貫教育のいずれかのグループに所属し、多様な観点から人権教育について協議した。
- ・中学校区合同研修会やそれぞれの学校での研究発表会を開催し、4校の教職員が必ず入った小グループで人権教育について話し合う機会を何度も設け、小・中学校の発達段階や学校の実情に合わせた取組を話し合った。

地域・関係機関
との連携の概要

- ・子どもたちが発達段階に合わせて一ノ井児童館の職員等から人権について学んできたことを、文化祭等で紹介した。
- ・各校の人権授業参観や人権集会において、学校運営協議会の委員や保護者などが、子どもとともに人権問題について考えたり、子どもによる人権学習の発表に対して感想や意見を返していただいたりする機会を設けた。

事業成果

- ・知識的側面：82.3%→86.9%（+4.6） ・価値・態度的側面：78.7%→84.4%（+5.7）
- ・技能的側面：79.4%→85.2%（+5.8）
- ・中学校区として大切にしたい内容や共通教材等について協議を重ね、9年間の系統性・連続性や4校のつながりを意識し、中学校区の子どもの実態に合った人権教育カリキュラムを作成し、共通理解を図ることができた。
- ・各学校や中学校区全体で研修を積み重ね、被差別当事者や有識者の講演を聴いたり、教職員自身が経験や思いを語り合ったり、教材研究と授業実践を行ったりする中で、教職員の人権感覚を高めていくことができた。